

魅力ある献立の実施状況

学校での食育の推進に学校給食を生きた教材として活用するために、学校給食は栄養バランスのとれた献立であることに加え、選択できる献立、地場産物や郷土食等を活用した献立、また教科と関連した献立であること等が大切である。また、児童生徒に学校給食を通じて楽しみながら興味・関心を引き出させることが必要である。

1 米飯給食実施状況

学校給食における米飯給食の導入は、食事内容の多様化を図り、栄養に配慮した米飯の正しい食習慣を身につけさせる見地から、教育上有意義であるとして昭和51年度から実施されている。

米の生産県である本県は、積極的な米飯給食の推進を図った結果、着実に普及がなされ、昭和61年度においては完全給食実施校で100%の実施となった。また、米飯給食は、学校または共同調理場において行う自校炊飯方式、学校給食用食パン製造業者等の協力により行う委託炊飯方式で実施されているが、本県の完全給食実施の小・中学校では、委託炊飯方式が児童生徒数で63,159人(63.2%)と多く、自校炊飯方式は、36,325人(36.3%)となっている。県立学校においては、自校炊飯方式が多い。

実施回数については、文部科学省では昭和60年代当初より児童生徒数平均で週3回を目標に推進が図られ、平成19年度の全国平均が、完全給食実施校において初めて週3.0回になったのを機に、さらに米飯給食の推進が求められているところである。

本県全体の今年度の児童生徒数平均は3.48回となり、年々増加傾向にある。

(1) 形態別米飯給食実施状況 (完全給食実施校)

区分	総数	自校炊飯		委託炊飯		米飯持参		
		実施数	比率(%)	実施数	比率(%)	実施数	比率(%)	
小学校	学校数	219校	97校	44.3	120校	54.8	2校	0.9
	児童数	82,216人	24,226人	29.5	57,524人	70.0	466人	0.6
中学校	学校数	53校	41校	77.4	12校	22.6	0校	0.0
	生徒数	17,734人	12,099人	68.2	5,635人	31.8	0人	0.0
計	学校数	272校	138校	50.7	132校	48.5	2校	0.7
	児童生徒数	99,950人	36,325人	36.3	63,159人	63.2	466人	0.5

区分	総数	自校炊飯		委託炊飯		米飯持参		
定時制 高校	学校数	5校	5校	100.0	0校	0.0	0校	0.0
	生徒数	425人	425人	100.0	0人	0.0	0人	0.0
特別支 援学校	学校数	11校	5校	45.5	6校	54.5	0校	0.0
	児童数	1,792人	752人	42.0	1,040人	58.0	0人	0.0

県内の児童生徒数平均による1週間あたりの米飯回数

